

B A T I K



BATIKレポート vol.03

2018年5月5日[祝・土] 19:00開演 6日[日] 16:00開演 六行会ホール

『ラストパイ』（初演：2005年7月／リューとひお劇場）

『テトラヘドロン』（初演：2014年12月／Hakuju Hall）

BATIKレパトリーズ vol.03

2018年5月5日[祝・土] 19:00開演 6日[日] 16:00開演 六行会ホール

※開場は開演の30分前



「ラストパイ」

振付・演出：黒田育世

音楽・演奏：松本じろ

出演：BATIK、ワークショップ受講生

選べない交われない戻れない許されない終われない分からない

それでも嬉しくてまだ止めない

ただただ身体がもげそうで

初演：2005年7月15日 Noism 05「Triple Bill」委嘱作品 会場：リューとびあ劇場（新潟）



「テトラヘドロン」

振付・演出：黒田育世

音楽：スティーブ・ライヒ

出演：BATIK

初演：2014年12月 第2回 アート×アート×アート（音楽×ダンス×写真）「TETRAHEDRON テトラヘドロン」会場：Hakuju Hall（東京）

写真：bozzo

チケット ※全席自由

一般前売：3,000円 学生前売：2,500円

一般当日：3,500円 学生当日：3,000円

チケット発売：4月13日（金）

チケット取扱

• Confetti（カンフェティ）

<http://confetti-web.com/batik/>

0120-240-540

※通話料無料・オペレーター対応

（受付時間＝平日 10:00～18:00）

• BATIK 公式サイト <http://batik.jp/>

お問合せ：info@batik.jp/ 090-2626-6954（平日 10:00～17:00）

スタッフ

照明：森島都絵（株式会社インプレッション）

音響：金子伸也

舞台監督：実川英司

宣伝美術：坂本陽一（mots）

制作：龍本麻璃英

主催：BATIK

共催：一般財団法人六行会

協力：studio ARCHITANZ アーティスト・サポート・プログラマ



B A T I K

黒田育世 Ikuyo Kuroda

6歳よりクラシックバレエを始め、1997年渡英、コンテンポラリーダンスを学ぶ。2002年BATIKを設立。バレエテクニックを基礎に、身体を極限まで追いつめる過激でダイナミックな振付は、踊りが持つ本来的な衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。2003年トヨタコレオグラフィアワードにて次代を担う振付家賞、オーディエンス賞、2004年朝日舞台芸術賞、2006年舞踊批評家協会賞、2010年第4回日本ダンスフォーラム賞、2015年第9回日本ダンスフォーラム賞を受賞。BATIKでの活動に加え、金森稜率いるNoism05、鮎屋法水、古川日出男、笠井叡、野田秀樹、串田和美など様々なアーティストとのクリエイションも多い。

BATIK

黒田育世の振付による創作を中心としたダンスカンパニー。02年に設立、主な作品に『SIDE B』『SHOKU』『ペンダントイヴ』『おたる鳥をよぶ準備』など。17年に新作『THE RELIGION OF BIRDS』を発表、各地で好評を博した。これまでにダンスアンブレラ・フェスティバル、ベネチア・ビエンナーレ、スペイン・サラゴサ万博、シンガポール・インターナショナルフェスティバル・オブ・アーツなどに招聘され、世界16カ国で作品を上演。敢えてバレエのテクニックを基礎にもったカンパニーとして、多様化するコンテンポラリーダンスの表現の中で「踊ること」にこだわった活動を行っている。
<http://batik.jp/>



六行会ホール

〒140-0001 東京都品川区北品川 2-32-3

アクセス：京急「新馬場」駅・徒歩約3分